

時 報

反省を要する卵の品質改善 夏場の鶏卵出荷

—他県のものに押され気味—

岡山県産の卵の70%は阪神地方に出荷され、金額にして約40億円と推定されます。大阪市場に入荷している卵のうち30%、即ち3割は岡山の卵で占めている状況です。又品質改善についても他県にさきがけて自主検査を行ない、品質の改善に力を入れ市場信用を高めています。最近この検査がややもすれば慢性化して、品質が下向きの傾向にあるようです。特に他県では品質改善に力を入れて市場信用を高めていますので、岡山県としても、これに対して十分反省するとともに、生産者、出荷取扱者、1人1人が自覚して、岡山の卵の名誉にかけても良心的な卵を出荷し、市場の信用度を高め販売を有利に行こうではありませんか。これから夏場になると特に品質が低下し易くなりますので、次の事項に留意してください。

1、量目の不足

最近目切れのものが目立っている傾向です。目切れすることは市場信用を失う1番の大きな原因ですから、出荷組合の取扱い担当者は、特に注意して量目不足にならないようにしてください。

量目不足の大きな原因は計量器の不良によるものが多いので、この点特に注意して確実に目方を計ってください。

2、集卵、出荷を確実に

- ①できるだけ2日集卵とし、やむを得ない場合は3日集卵とし、それ以上はなるべく延ばさないようにしてください。
- ②端数詰となる場合はその旨を明記して出荷し、積残しのないようにしてください。

3、卵の手入

きれいな卵を出すことは第1条件です。手入をする場合、水洗い、薬品洗い、濡れ雑布でふかないよう。

4、ひび卵

- ①夏場には特に鮮度が悪くなり易いので、ひび卵は地場消費向けにして出荷しないことです。
- ②新鮮卵の中にひび卵を入れないように、ひび卵は早くクサリ易いので、この中に入れると他のものを腐敗に導く恐れがあります。

5、ケース（ダンボール箱）

- ①シッカリした新しいものを使用してください。旧箱を使用する場合は特にシッカリしたものを使用してください。
- ②フラット、フィラーのそれぞれ異なったものを使用しないこと。
- ③フラット、フィラーの悪いものは早く取り換えることです。
- ④箱、フラットは湿めり易いので、特に雨天の際の箱詰には注意してください。（量目不足の原因となる）

6、その他

- ①卵の輸送、保管するとき日光に当てないようにしてください。
- ②保管するときは日蔭の風通しのよい所を選ぶことです。

（畜産課 岡本技師）